

第9回 石田縞アイデア 小物コンテスト 作品集

石田縞

主 催 ■ 鯖江市織維協会

後 援 ■ 鯖江市、鯖江商工会議所、鯖江観光協会、

福井新聞社、FBC、福井テレビ、こしの都ネットワーク



幻の石田縞

江戸時代から織られた石田縞
福井の女学生に愛された木綿織り

汗を吸い、丈夫で保温にも適している木綿を使い、縦横に筋を入れた縞織物は、南蛮貿易で注目され「唐縞」などと呼ばれ江戸時代では最新の織物でした。

鯖江の下石田に住む、高島善左衛門は貧しい村人を救うために文政年間に美濃で縞織物を習い、織工を招いて工場を建てました。これが人気を博し、副業として近在に広がりました。これが石田縞の始まりです。

石田縞は絹糸に細い唐糸を2本撚り合わせた双子糸を使い、緯糸に单糸の唐糸を使用したので双子木綿とも言われています。衣服、野良着、布団地などに使用されていました。明治33年(1900)には生産高33万反にまで達するほど織られました。

明治39年に福井女子師範学校女子部が石田縞の袴を制服に採用したのを皮切りに、福井県下の女学校や小学校の制服に指定されています。

大正時代に動力で動く力織機によってさまざまな布が大量に織られ、学校制服がセーラー服へと変わったように、洋装が普段着に使われるようになると石田縞は急速に衰退していきます。

今では幻の織物と呼ばれていますが、数人の作家によって復元し、纖維協会手織りセンターでは現代の好みに合わせた色やデザインで実際に織る体験が出来るようになりました。

石田縞アイデア小物コンテスト

草木で染めた糸を手織りした石田縞。江戸時代から織られ、たくさんの人から愛されたこの石田縞の美しさと魅力を、今の時代にふさわしい形で、身近な小物で、新しいアイデアで発信したい。纖維協会ではそのアイデアを広く皆様に募集するため、アイデア小物コンテストを開催いたしました。今年は53点の応募がありました。

○内 容 「石田縞を使った商品にあつらいいな。」と思うアイデア小物を募集するコンテスト

○対 象 高校生以上

- ・石田縞をメインにアイデア小物を製作ください。
- ・参加者が自ら製作し、未発表のものに限ります。
- ・石田縞以外の用品は参加者の方で負担してください。
- ・出品されたアイデア小物は返却しますが、小物の製造版権は纖維協会のものとします。

○作品展示 11月28(金)～11月30日(日)

鯖江市まなべの館

○副 賞 最優秀賞(賞金3万円) 1本
優秀賞(賞金5千円) 10本以内

■審査員

仁愛女子短期大学生活科学学科准教授
鯖江商工会議所経営支援課長
鯖江市産業交流部産業振興課長
石田縞保存会
石田縞保存会
協同組合鯖江市纖維協会副理事長

前田 博子
藪 久美子
酒井 智行
久嶋 英子
吉村 和枝
辻裏 隆徳

石田縞アイデア小物コンテスト審査員長講評

この度は、第9回 石田縞アイデア小物コンテストに、47名より53点もの力作をご応募いただきましたこと、心より御礼申し上げます。

今回の応募作品の傾向として、石田縞の「部分使い」が多く見られました。これは、制作者の皆様が、石田縞を単なる素材としてではなく、その風合いと歴史から、作品に格調と物語性を添える「高級纖維」として認識されていることの証左であり、その新たな存在感を強く感じました。

私たちは、ものづくりにおける技術や技法を他者から学び、継承することで文化を発展させてまいりました。今回の作品やアイデアを拝見する中で、本コンクールが、手芸を愛好する皆様同士が技術やアイデアについて意見交換を行う、創造的な交流の場となることに大きな意義があると感じております。この交流こそが、これからの石田縞の可能性をさらに広げる礎となるでしょう。

皆様から寄せられたこの素晴らしい作品群を機に、石田縞が現代の暮らしとどのように結びつき、手芸という身近な表現を通してどのような新たな価値を生み出していくのか。その未来のあり方を、制作者の皆様とともに深く考え、創造していきたいと願っております。

審査員長 仁愛女子短期大学生活科学学科准教授 前田 博子

最優秀賞

前かけ
加藤 千枝



優秀賞

和鉢、クラフト鉢ケース
小畠 英子



先端に綿が入っており赤のキルティング生地で15年程使っており、持ち歩くのにもケースに入れてあると家族にさわられずにすみます。重宝しています。

優秀賞

一閑張りバック
日下 礼子



木綿の古い帯に石田縞を合わせて一閑張りバックを作りました。石田縞の縞模様を活かせるよう配置を工夫しました。

優秀賞

クッションカバー
坂井 悅子



紬の風呂敷に今までの小物作りの残布で華を

優秀賞

ちゅうちょがいっぱい
山田 悅子



縞模様を生かしたちゅうちょをいっぱい作りました。縦、横、斜めいろいろ作りましたが、仕上りはあまり変わりませんでした。

優秀賞

優秀賞

お出掛けポシェットと帯ポケット
橋本 ひろみ



石田縞の縦縞の風合いを活かして着物のハギレやたたみのヘリを使って帯ポケット(カードや名刺入れ)やバネ口ポシェットを作りました。アクセントに艶のあるタッセルを付けたことで幅広い年齢の方にもお使い頂けると思います。

優秀賞

優秀賞

眼鏡ホルダー＆オーナメント
前川 優子



石田縞でヨーヨーキルトを作りました。可愛い柄でしたので可愛い小物、温かみとおしゃれを重視いたしました。

優秀賞

優秀賞

刺し子のコースター
福田 恵理子



吸水性、保温性のある石田縞はコースターにもピッタリ!
お好きな柄をどうぞ!!

優秀賞

優秀賞

和!!ボードゲーム
武田 真衣



子どもの頃に慣れ親しんだゲームを石田縞の駒とミニ畳を使って和のボードゲームに表現しました。

石田縞手織りセンター 今昔

織維協会の石田縞手織りセンターは平成21年(2009)4月にオープンした。織維協会ビルの1階の角部屋に織機2台とバッタン機1台が置かれていた。整経機は、近くの小部屋に据え付けられていた。のちにホールに子ども用コースター織機が入り、手狭になったことから現在の3階に移動することになった。



第9回 石田縞アイデア小物コンテスト

世界にひとつしかないあなただけのカバン
村岡 成子



石田縞ふわふわインクバック
塔尾 富美子



ポケットティッシュケース
毛利 清美



利休バック
木股 友子



布バック
鈴木 みどり



ちょっと大きめ斜め掛けバックと巾着袋
山本 壽美子



にゃんこ帽子チャーム
高森 梨恵



リバーシブルふた付きポーチ
田中 恵子



刺し子のバッグ
小林 かず子



ランプシェード「秋のこもれび」
毛利 清美



ウォルドルフ人形～森のかわいい魔女～
山 明美



3Way Bag in Bag
中村 和佳代



第9回 石田縞アイデア小物コンテスト

■ペンケース
武藤 博子



■便利ポーチ
木下 邦子



■石田縞と旅(足袋)に出よう!
小柳 由紀子



■着物リメイク
野尻 明美



■ポーチ2点とカード入れ
内藤 ヒロ子



■どこでもんぺ
鈴木 菜々子



■お薬手帳、診察券入れ
辻 秀美



■バックインバック
手賀 和美



■三ツ折りバック
坂井 悅子



■巾着袋
丸岡 啓子



■石田縞と大島紬のコラボレーション
吉田 由美



■わたしのかさ
武田 カナエ



第9回 石田縞アイデア小物コンテスト

マイバックインバック
吉田 紀美枝



ツーピース(上衣、パンツ)
菱川 よし子



4ヶ所あけ口の小物入れ
大澤 実穂



ヘアピンorブローチ
大澤 実穂



カード入れ
菱川 よし子



小物入れ
大澤 和江



鍋つかみ兼鍋敷とコースター
小林 多美江



バウンサークバー
澤田 薫



おりん座布団
大澤 和江



室内スリッパ
大澤 実穂



エプロン
前田 聖子



和服時携帯用カバー
山本 健二



第9回 石田縞アイデア小物コンテスト

メガネケース付リフォームキャップ
長澤 澄雄



どこでもポケット
長澤 孝子



バッグインバッグ
片田 房代



リバーシブルランチョンマット
片田 博美



折り布箱
松原 照代



渋い石田縞ミニバッグ
牧野 妃佐己



石田縞保存会作品

石田縞のパーティーバッグ
牧野 友里子



石田縞のカチューシャ
牧野 杏美



渡辺 洋子



榎本 富枝



石田縞保存会 会員作品集

石田縞

久嶋 英子





鯖江市織維協会

後援 鮎江市、鮎江商工会議所、鮎江観光協会、

福井新聞社、丹南ケーブルテレビ、FBC、